

## 第 2 次検討ダム（先行河川）について

対象河川： オッカバケ川（北海道森林管理局）

## 1 第 1 回会議での意見等

## ○No2ダムについて

- ・ダム上流に溜まり込んでいるものは大きな石が大半である。
- ・ダムの左右岸にスペースが全くないことから、切り下げてスリットにするか、今の堆砂の高さを維持したまま上流に遡らせるか、経済的、効果的に考える必要がある。
- ・ダムを造ったことによりダム上流に人為的にサケ・マス産卵環境が形成され、そこへ遡上させることができれば自然産卵により資源量を増やせると予測されるが、知床本来の状況ではないと考えられるので議論が必要である。
- ・イワウベツ川の状況変化は非常に参考になるので、それらを見ながら良い計画を検討することが必要である。

## ○地域との関係について

下流では多様な漁業を営んでおり、地域住民の合意形成が重要である。

## 2 主要な課題等

## ○防災機能を低下させない工法の選択

- ・No2ダムを切り下げ、スリット化した場合、No1ダムの堆砂域は土砂を捕捉するために重要である。
- ・No1ダムは切り下げ、スリット化すると縦断勾配の関係からNo2ダムに影響を及ぼす恐れがあり、切り下げ、スリット化は困難である。
- ・No2ダムは両袖部が短いため魚道の設置は困難である。（設置後45年を経過しており、鋼材の品質低下に対する今後の対応の検討）

## ○施工を検討するにあつての課題

- ・No1、No2ダムまでの作業道の設置が必要である。また、No1ダムからNo2ダム間の作業道は河床を横断しなければならないため、河床改変を抑制するための大規模な仮設工法の検討が必要である。
- ・No2ダムを切り下げ、スリット化した場合、堆積土砂を自然と流下させることとなり下流への影響が懸念される。

### 3 現在の取り組み状況等

#### ○No1ダムについて

- ・右岸側の袖部長も十分確保できることから、魚道設置による改良を検討。

#### ○No2ダムについて

- ・切り下げ、スリット化を検討するなど、ダム下流への小砂利の供給を行って産卵環境の改善に資するよう対応していきたい。
- ・作業道の設置にあたっては河床改変や土砂流出の影響が少ない施工方法等も検討する。

#### ○地域との関係について

- ・平成26年11月、羅臼漁協及び羅臼町に対し、改良の目的・方向性について説明した。  
改良時における意見として、施工時の汚濁対策と施工後の後処理の徹底を要望。
- ・平成27年1月16日、下流の地域住民への説明会を実施。  
改良の目的や方向性、改良により期待される効果及び懸念される影響等について説明。  
参加した住民からは、
  - ・防災機能を大きく損なわないような改良をしてほしい
  - ・河川の汚濁防止対策をきちんと措置してほしい
  - ・下流の人家やコンブ干し場に影響がないようにしてほしい
  - ・海の活性化に繋がるのであれば改良は賛成
  - ・漁業への影響を考慮すると濁水が出る期間を短く（単年度工事に）してほしいなどの意見が出され、改良の検討について概ね理解。

### 4 その他